

障害者支援施設 はくちょう園 ・ オベストはくちょう
令和7年度 第1回 地域連携推進会議 議事録

日 時 令和8年3月24日（火）13：30～15：30

場 所 はくちょう園 事務棟 会議室

参加者	保護者代表	1名
	利用者代表	1名
	地域関係者	1名
	福祉関係者	2名
	施設スタッフ	4名

内 容

1、あいさつ 施設長挨拶

「本日は、お忙しい中ご来園下さり感謝申し上げます。

今回初めての地域連携推進会議となります。会議の目的と役割については、会議の中でお話しさせていただきますが、はくちょう園・オベストはくちょうについて、合同で会議を行わせて頂きます。

事業所を知って頂く貴重な機会となりますように見学を含め事業所の取組についてご報告させていただきます。皆様の視点からのご意見・要望・助言等により、よりよい利用者支援や地域連携につなげていきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。」

2、自己紹介

参加者全員に自己紹介頂きました。

3、地域連携推進会議の目的について

副部長より目的・役割について説明をする。 資料参照

4、法人施設の概要について

施設長より概要説明する。 資料参照

5、利用者について（生活状況等）

主任生活支援員より利用者の区分・性別・生活時間・日中活動等生活状況について説明する。 資料参照

6、地域との連携について（防災・行事等）

BCP（業務継続計画）について 副部長より説明 資料参照

7、利用者の権利擁護について 資料参照

- ・虐待防止、ヒヤリハット報告について
- ・利用者アンケートについて

主任生活支援員より、令和7年度のヒヤリハット集計結果、事故の要因、対策について説明。また利用者アンケート（満足度調査）結果の説明をする。

良い意見・悪い意見についてはその項目に該当する委員会などで改善策など検討し対策を実施しています。

施設長より、1年間の生活支援課研修についての説明。虐待防止権利擁護身体拘束適正化検討委員会では、必ず年2回以上研修を実施している。また、副部長が埼玉県の虐待防止委員になっており、タイムリーな研修が出来ているかと思えます。

8、質疑応答

福祉関係者：「日中活動の活動内容はたくさんありますが、どの活動内容がみなさん好きですか？」

利用者：「基本自由参加ですが、カラオケが人気があると思います。ゲームも皆さん楽しんでますかね。個人的には美容の会という活動があり、ネイルをしたり、顔パックをしたり化粧もしてくれます。塗り絵も好きです」

主任支援員：「男性利用者の方も顔パックやネイルをするので美容の会には多くの方が参加して下さっています」

地域関係者：「私も高齢の親を見てきましたが、ここの施設でも排泄だったり、食事・入浴だったりと自分で出来ない方は職員が介助してるんですよ。本当に大変かと思えます。また以前親を施設に預けていたのですが、母が職員に対しすごい態度をとっているのを見ているので施設職員の方は難しい利用者も対応しなくてはならないので大変だと感じていました。」

地域関係者：「ここの施設に入居される方、また退居される方の基準などはありますか？」

施設長：「基本入居は18歳以上の障害者手帳をお持ちの方であれば入居できますが、施設側も希望される方の情報を得て施設で受け入れ可能かの有無を判断させて頂いております。退居については、65歳までとなっておりますが、現在の制度では65歳を過ぎてもご本人がこのまま残りたいと言えば何歳でも居られる事ができます。現在も80歳代の方が利用されています。ただ病気などで長期入院になり退院の見込みがない場合には退居して頂く事があります。」

福祉関係者：「職員の出入り（離職）についてと物価高騰対策について伺いたい」

副部長：「職員の退職者はぼつぼつとおりますが、現状では国の職員の

配置基準は満たしている状況です。また、求人も出していますが中々集まらないのが現状です。

福祉業界はどこの施設でも人手不足が深刻な問題です。はくちょう園・オベストはくちょうでは4年ほど前からミャンマーからの技能実習生を現在14名受け入れております。求人も出しておりますが、採用人数も少ない状況です。先日の福祉新聞にも載っていたのですが、介護福祉士の養成校では学生が集まらず廃校になる学校もあります。当施設でも人手不足は問題となっております。技能実習生は日本語を勉強しているのでコミュニケーションはある程度出来てからの入国となります。難しい内容は理解できない時もあるかと思いますが・・・利用者代表の方、技能実習生の対応はどうでしょうか？」

利用者：「技能実習生は皆さん一生懸命に頑張っていますよ。時々会話が分からない時はありますが(笑)何とか理解して頂けるので大丈夫です」

事務長：「物価高騰については、食事だけの問題ではありませんが、現在委託している給食業者が企業努力して下さっています。若干食材費はあがりましたが、利用者の方から値上がり分の負担金は頂いておりません」

地域関係者：「以前この上川俣地区の民生委員をさせて頂いていましたが、今までの引継ぎではくちょう園は担当外と言われていました。2年ほど前から赤い羽根やら赤十字などでご協力頂くようになりましたが、交流らしいものがなかった様に思います」

副部長：「コロナが流行する前までは、大きな行事、運動会・納涼祭・文化祭・地域防災協力会など実施し回覧板などにも案内を出させて頂いたことが御座います。コロナも5類となり少しずつ施設行事も行ってきております。今後以前の様に地域の方を交えて行事が出来るようになった際には、地域の皆さんに周知できるよう今の時代ですのでホームページやSNSなども利用し広報活動をしていきたいと思っております。貴重なご意見ありがとうございます」

福祉関係者：「非常食の一覧がありますが、地域住民と載っております。どれくらい地域の方の非常食を保管していますか？」

副部長：「地域の方の非常食分は約100食3日分と考えております。県などからは7日分の非常食が備蓄されていると良いと言われておりますが保管場所も限られておりますので現状は利用者・スタッフ・グループホーム・地域住民分で3日分の備蓄となっております。はくちょう園は福祉避難所の指定を受けております。福祉避難所は、高齢・障害・体の不自由の方が優先となりますが有事の際は避難して頂いても構いません」

9、施設見学 案内：施設長

はくちょう園・地域交流ホーム・オベストはくちょうを見学する。
地域住民より「地域交流ホームは広く地域の方に開放して頂くとありがたい。
立派な施設ですね」

施設長：「以前は地域の方にご利用して頂いた事があります。保育園のお遊戯会なども行ったことがあります。コロナインフルの関係で現在は殆ど地域の方の利用はありませんが、今後規約などを再度確認し、またコロナなどの状況もみながら皆さんに開放出来るようにしていきたいと思います」

保護者代表：「カラオケもあり、地域のお年寄りなど喜ぶのでは？使用料は無料ですか？」

施設長：「無料です。今後は是非開放できるよう検討させていただきます」

* 訓練室、新館居室、多目的トイレ、オベストはくちょう浴室など見て頂き特徴を説明する。

閉 会

施設長より

「本日はお忙しい中、地域連携推進会議に御参加頂き誠に有難う御座いました。皆様から頂いた貴重な意見を参考に今後も地域交流や地域へのアピール、利用者の方のより良い支援に努めてまいりたいと思います。また、来年度も地域連携推進会議を実施いたしますので是非とも次回もご協力頂きます様宜しくお願い致します。本日は有難う御座いました。」

以 上